COMBAT
コンバットマガジン
July,2018
No.508
7

Cover Illustration
M. Kelly(Satoshi Okada)
ⓒ WORLD PHOTO PRESS 2018
※本文中の価格は消費税込みの
総額表示です。

CONTENTS

043 【特集】Part.2
ミリタリーコレクションのススメ
Recommendation of Military Collection Part 2
●コレクションの手入れと修理
●金属アイテムのレストア
●ストリート・ミリタリー・スタイル

【特集】シリーズ COMBAT学習塾
059 ミリタリーラベルの読み方
～奥深きラベルの世界へようこそ!～

Psychological Operation in Vietnam War
第4回 ベトナム戦争のペーパーウォー
017 OPERATION LEAFLETS
ビラまき大作戦
SGM Herbert Friedman(Ret)

024 メコンデルタ
The Brown Water NAVY in Vietnam

005 月刊 THE グリーンベレー
GREEN BERET

011 ミリ服 PROFILING

035 VIETNAM WAR Air Combat

042 コラム ベトナムを遠く離れて――。 文／小倉 徹

078 ニッポンの力こぶ
遂に発足した日の丸海兵隊 水陸機動団

092 HELIKON-TEX New Products
COVER TACTICAL PANTS

The Equipments of the U.S. Force
102 [現用米軍装備カタログ]
'90年代特殊部隊装備始動! Part.4

112 NEW GENERATION STYLER
UAB5 2018.4.24 @BLAST

098 シン・サバゲ三等兵
巨大室内フィールド・デルタゾーン編

137 トイガンニュース
WA コルト・コブラ／ロイヤルブルー
東京マルイ 静岡ホビーショー最新モデル
タナカ SIG P220 IC 陸上自衛隊
タナカ S&W M629PC フラットサイド3in Ver.2

144 東京マルイ
S&W M&P 9L PCポーテッド

149 WESTERN ARMS
コルトM1911〈100周年記念モデル〉

152 WESTERN ARMS
ハードボーラー T1

COMBAT FRONT LINE

072 速報! 第57回 静岡ホビーショー
074 ツゲチョリ【下北沢 真白編】
075 陸上総隊、本格始動

077 ゲームOTT
082 MILITARY LINE
084 新製品てんこ盛り! COMBAT mono
090 サバゲ三等兵APS部
120 レアミリタリーテクノロジー
122 兵装嗜癖
124 戦うおじさんたちのコラム「アラフォーズ」
127 CIC
128 PRESENT
158 バックナンバーリスト
159 次号予告

Recommendation of a Military collection

ミリタリーコレクションのススメ Part.2

●Photo by Tomoyuki Orimoto

COMBAT学習塾

ミリタリーラベルを読み解く!

レェベルの違う大特集!

世界中に展開している米陸軍・海軍・空軍・海兵隊――。
彼らが着用する全ての衣類には必ず
ラベルがついている。
ラベルはコントラクター(軍の委託を受け製造する
メーカー)が作成し、そこに記載された
ストックナンバーによって製品管理されている。
ラベルは厳格な軍仕様書ミルスペックを
クリアした証であり、
その物品が製造された
年代・素材・製造メーカー
などを知る手がかりとなるのだ。
今回はそんな奥深いラベルの
世界へ読者の皆様を
誘うべく、基本となる
ラベルの読み方から
アコガレの特殊部隊モノ、
さらに我らが自衛隊まで、
幅広くご紹介!
知識を得ることによって
ぐーんと広がる
ミリタリーの世界へ
ようこそ、おこしやす!

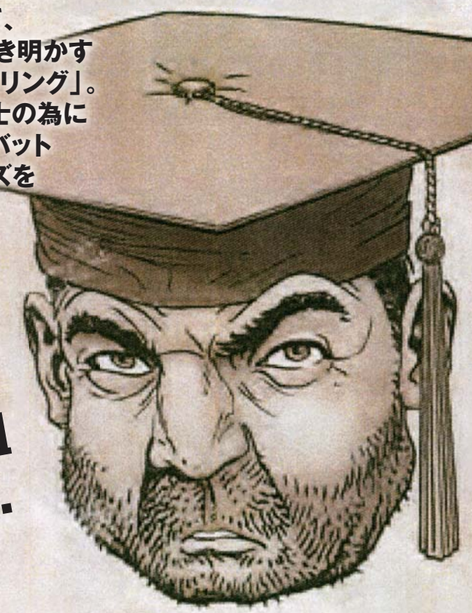
Labels Are Different!!

文／菊月俊之(P.60〜65)、松原 隆(P.66〜69)、菊池雅之(P.70〜71)
参考・協力：LAZY CAT(P.66〜69)
イラスト／狩野健一郎
写真／TAKU(P.63、P.64)

ミリ服 PROFILING

A "Know-It-All" Profiler

ミリ服をとことん掘り下げて、
そこに秘められた物語を解き明かす
名付けて「ミリ服プロファイリング」。
第1回はベトナムで戦う兵士の為に
開発されたトロピカルコンバット
ユニフォームのトラウザーズを
プロファイルします。



He has all the answers.

Feels no need to read Field Manual any number.

●Photo by Yasuji Yushina (WPP)

EXPERT

Is in for Writing Help
5¢ same as LUCY.

サイズが記されたタグ。特筆すべきはその表記で、ウエストサイズがスモールの場合は27インチから31インチまでと表記されるのが一般的だが、ここでは単に30インチまでと記されている。この特徴は初期型の中でもあまり見られないもので極めて珍しい。

前合わせはボタンで留める一般的な方式。内側にはガスフラップがあり、虫が侵入するのを防ぐのには役立ったが開閉が面倒で兵士には不評だった。

TROPICAL COMBAT TROUSERS
1st pattern (1963)

1963年に採用されたトロピカルコンバットユニフォームは5.5オンスのコットンポプリンを用いる事で、当時一般的だったユーティリティーユニフォームに比べ、熱帯でも快適で、濡れてもすぐ乾く事からベトナム戦争を象徴するユニフォームとなった。1stパターンのトラウザーズはポケットフラップの露出したボタンが一番の特徴で、ジャングルなどの茂みではこのボタンが引っかかり、夜間にはボタンが光って目立つという問題があったため、後に改善される事になる。またフロントポケットが脇の縫い目に沿っており、手の出し入れがやや面倒な作りになっているが、原型といわれる大戦時の空挺服や、他の戦闘服にもこの形のポケットは見られず、このトラウザーズ独自のディテールである。カーゴポケットは充分な容量を持ち、入れた物がバタつかない様に縛るストラップが内蔵されている。さらに左側のカーゴポケット内部にはサバイバルキットを入れるためのポケットが設けられていた。ポケットフラップは角が丸みを持っており、当初はデザイン性も重視していた事が窺える。ポケットには水抜き用の穴（ドレンホール）があり、裾に絞り紐（ドローコード）がある。親切な設計は完成度が高く、ベトナムで戦う兵士に好評だった。

カーゴストラップがずり落ちない様に股の部分にはカーゴストラップを通すためのループが設けられている。

側面のアップ。フロントポケットが脇の縫い目に沿っているのがよくわかる。露出したボタンが良く光る事が問題になるのは先述の通りだが、同じ時期に作られたM51フィールドジャケットやパーカでもこのボタンが使われており、同様のツヤがある。ウエスト調節用のタブはウエストを絞る時以外は遊んでしまい少しだらしないが、ユーティリティパンツにも見られるディテールで、そこから借りてきた可能性がある。

インストラクション／コントラクトラベル、DSAナンバーを見ると1963年前半に造られた物と推察される。

カーゴポケットのアップ。内蔵されたストラップを出すためのスリットとその下にはドレンホール。右の写真は実際にストラップを用いて中身をおさえている様子。

裾のドローコードのアップ。

左のカーゴポケット内にあるサバイバルキット用の小型ポケット。このポケットは最終型まで付けられているが、肝心のキットが支給される事が無かったためにその存在意義は失われてしまった。写真には写っていなかったがこのポケットにもプリーツとドレンホールが設けられている。

第4回

Psychological Operation in Vietnam War

THE PAPER WAR

ベトナム戦争のペーパーウォー

OPERATION LEAFLETS

ビラまき大作戦

Text & Leaflet Images/SGM Herbert Friedman (Ret.)
Coordination/Mikako Burks (PPI)
Editor/Kiyoko Kawamura

空から降ってくる紙のバクダン。
伝単やリーフレットと呼ばれる紙片は
手から手へ渡される時、特に取扱注意だ。
人の温もりでコーティングされたバクダンは
巧みに送り手の意図を隠して
戦争メッセージを抱え不意に爆発する。

HELIKON-TEX NewProducts
COVERT TACTICAL PANTS

Photos & Text by Tomo Hasegawa
㈱中田商店 ☎03-3839-6866(http://www.nakatashoten.com/)

ヘリコンテックス社の新型パンツついに登場!!
シンプルなシルエットに、装備が目立たず携行できる!
街にブレンドインする、現代戦士の戦闘服。
“カバート タクティカル パンツ”!!

突発的な状況にも柔軟に対応。動きをリミットしない、闘う男のサバイバルウェア。ヘリコンテックス社最新タクティカルパンツ“CTP”。

待望の新型 タクティカルパンツ

ヘリコンテックス社から待望の新型パンツがついに登場した！　その名は“CTP”。
“Covert Tactical Pants(カバート タクティカル パンツ)”それぞれの頭文字をとったもの。
“Covert”には「隠された」「内密の」「ひそかな」「人目につかない」、さらに「隠れ蓑」などの意味がある。
“CTP”は一見チノパンのようなスッキリしたルックスのスラックス。ところが装備品を密かに携行できるよう、画期的な工夫と新アイデアが搭載されているのだ！

CTPはここが凄い！パート1 画期的ポケットデザイン

まず注目はポケットだ。
フロントからバックポケットまで、横一直線でまとめられたデザイン。素晴らしいルックスもさる事ながら、前後ポケットの間に仕切りがあり、もう一つポケットが設けられている！　前後ポケットの中間だからミドルポケットか？　もしくはサイドポケット？　骨盤付近にあるので腰ポケットと呼べば良いだろうか……。
M4マガジンがピッタリ収納できるサイズで、iPhoneなどのスマホ専用かと思ってしまうほど使いやすい。椅子に座った状態でも取り出しやすく、車を運転している時や仕事中、あらゆる場面でサイドポケットが重宝する。
ポケットは大きければいいとういものではない。深すぎては取り出しにくく、大きなポケット内でアイテムが混在すれば、中で収容物が動いて必要な時に必要な物が取り出せなくなってしまう。緊急時に混乱するような事は絶対に避けたい。対応策としてポケット内にさらに小型のポケットを設けたり、エラスティックバンドで固定する案があるが、かえってゴロついたり不快で使い難いものになりがちだ。ポケットは収納量ではなく、使いやすい事が優先されるべきなのだ。
ヘリコンテックスは、携帯品に併せポケットサイズを区切る事で、タックティカルパンツに新たに実用性を実現。従来モデルからサイポケットを無くしただけではない！“CTP”の新規デザインによる高性能が魅力だ。